

校長先生の日記⑦

先生たちも愛を注いでいます！



ピンクのバット発見！

田んぼを歩いていた先生が、ピンクのバットを見つけ、子どもたちに見せてくれました。なんとピンクのバットは、大変貴重で、1000匹に1匹しか生まれないとのこと。そんな貴重なバットを見て本当に良かったです。バットの周りにはたくさん子どもたちが集まり、「すごいね」「ほんとだね」「どこにいたのかな？」「本当に幸せになるのかな」なんて会話が弾みます。そんなところでも異学年交流が始まります。「バットってこんな形だったんだ」と新しい発見もあったりして。これがさらに、「ピンクのバットが生まれる訳を調べたい」なんて新しい謎が生まれて、「調べてみよう！」なんてなったら探究の始まりです。



SOS の出し方教室

本校のSCの小巻先生から「SOSの出し方教室」を行っていただきました。今の自分の心中は、どんなもので占められていますか？一人一人が自分の心の中を見つめる時間となりました。「勉強」「部活」「家族」などが自分の心の中を占めている人、「ゲーム」や「スマホ」「お金」という人もいました。いずれにしても、自分の心のバランスが崩れた時、どう対応するか？決して一人で悩まず「SOS」を出して、助けてもらうことも大事にしてほしいと小巻先生に教えてもらいました。自ら自分の命を絶つようなことがないことを切に願います。



ほねほねコレクション

教頭先生は、骨が大好き。自分で骨格標本も作ってしまうほどです。そんな教頭先生のコレクションと、図書館でのコラボ企画が実現しました。教頭先生が展示してくれた様々な動物の骨格にはクイズがついていて、なんの骨かなと想像しながらみることができます。また分からない時は、司書の小黑先生が展示してくれた骨に関する本の中から答えを見つけることもできます。骨が大好きという子どもたちもいて、毎日図書館に足を運んでいるようです。動物によって骨に特徴があり、もっといろいろな動物の骨が見てみたいくなります。夏休みにさらに探究してくれる子どもたちが出てきてくれたら嬉しいな！

校外学習が計画されると、必ず事前学習の資料が展示されます。それもととても丁寧で、子どもたちも見学がとても楽しみになるような内容です。今回は5年生が9月に行くフォッサマグマミュージアムと翡翠海岸の展示です。実際翡翠海岸で採取できる石も展示されていて、ライトと磁石も一緒に展示されています。「ということは？」と試してみると、あるのです磁石にくっつく石が！ライトを当てるとまさか光る？あるんです。光る石が！もうそれだけで行ってみたいくなりますよね。夏休みに黒部ダムから翡翠海岸へなんて行ってみる子どもたちもいるかもしれませんね。思わずそうしたくなる資料ばかりです。



子どもたちにはなんとか「探究することの楽しさ」を味わってほしいと願う私たちです。かつてあって「一人一研究」今では「鉄腕 Dash 島」「博士ちゃん」かな。自分でやりたいことを決めて、その方法も決めてとことん追究する「探究学習」にこの夏休みに挑戦してほしいと思います。そのために私たち先生も、日々「刺激」を与え続けていきたいと思っています。